

第6回定例研究会

「寢床術」

第6回定例研究会は、小説家の藤原智美先生をお招きして、「寢床術」というテーマで講演いただきました。藤原智美先生のご経歴は、下記の通りです。

【講師プロフィール】

1955年、福岡市生まれ。

1990年に『王を撃て』で小説家としてデビュー。

1992年に『運転士』で第107回芥川賞受賞。

その後、小説創作のかたわらドキュメンタリー作品も手がける。住まいと家族関係を考察した『「家をつくる」ということ』はベストセラーになる。その続編『家族を「する」家』はロングセラー。話題作に『ぼくが眠って考えたこと』(エクスナレッジ社)、『暴走老人!』(文藝春秋)、『検索バカ』(朝日新書)がある。国際見本市協会、広島県、東京・長野・大阪建築家協会、都市公団、日本インテリア協会、フランス外務省、その他各地の新聞社、財団法人、社団法人主催の「家族と住まいと子供の環境」に関する講演、対談など多数。またNHK「視点・論点」、「週刊ブックレビュー」、「新聞を読んで」ほか、民放などテレビ出演多数。
ホームページ：<http://www.fujiwara-t.net/>

講師

藤原 智美 氏 (小説家)

テーマ

寢床術

講演日

2009年2月21日(土) 14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205

申し込み

不要